



【刺繍絵画】無銘(西村總左衛門、千總)《孔雀図屏風》 ※展示期間: 11/14 ~ 12/23

## リアリズム、ここに極まる — 圧倒的な存在感を放つ 技と美の世界

超絶技巧! 明治工芸の粋  
2014.10.4[土] — 12.23[火・祝]

「この蛙の足、可愛い!」とケースに顔を寄せ、母と娘、茄子の葉を単眼鏡で観察する男性、刺繍の屏風を様々な方向から見つめる学生…。東京・三井記念美術館の「超絶技巧! 明治工芸の粋」展会場での一コマです。約9万人を動員し話題となった同展がこの秋、佐野美術館にやってきます。

展覧会を見た人々は一体、何に注目しているのか—それは本物と見紛うばかりの技と、息詰まるほどに緻密な装飾です。出品作品の大半は、明治政府の文化施策の一環として海外へ輸出されたもので、近年まで日本で目にする機会はほとんどありませんでした。

それから1世紀余を経た1980年代の後半、ニューヨークの骨董店で偶然、日本の印籠に出会い、その精緻な美しさの虜となった日本人がいました。それが本展出品作のコレクター・村田理如氏です。村田氏は海外へ渡った明治の工芸品を次々と買い戻し、現在1万点を超えるコレクションを築き上げています。本展は厳選された約160点が展示されます。

さて冒頭、観覧者たちが熱心に鑑賞していた作品を、さらによく見てみましょう。

葉から葉へ飛び移る瞬間の蛙

をとらえた「蓮葉に蛙皿」は、全て金属から出来ています。蓮葉は銅、蛙は四分一(銀と銅の合金)、蛙の体の一部と枯葉は金の象嵌で表わして、正阿弥勝義(1832~1908)の刀装具師として鍛え上げた技が生きています。あまりの巧みさゆえに、皿であることも金属で造られたことも超えて、ただ、蛙の足の動きに期待を抱かせます。

動態表現で魅せるのが勝義の金工ならば、実在感で迫るのは安藤緑山(1885?~1955)の「三茄子」です。採れたての茄子の実の瑞々しさ、葉脈が透き通る薄く柔らかな葉は、象牙から彫り出され彩色されたものです。緑山は弟子を取らず彩色方法も秘していたといわれる、謎の牙彫師です。一代限りの技だからこそ、この超現実感は一層特別なものとなっています。

先の立体造形におけるリアリティの追究に対して、絵画表現に肉薄しているのは刺繍です。

「孔雀図屏風」は金糸で孔雀の羽を丹念に縫い表し、その重なりから生まれるボリュームはむしろ絵具で描いた以上の存在感と煌めきを放っています。また西洋の生活様式にあわせ、椅子に座ったときの目線を意識



して、メインの装飾部分を高めに配置しています。写実性と装飾美、機能美が見事に融合しています。

どうして、これら明治の工芸が欧米の人々に求められたのでしょうか。それは迫真にして華麗な技の素晴らしさだけではありません。日本人のどこまでも精緻に仕上げようとする感覚と、磨き上げた伝統の技への誇りに、感銘したからではないでしょうか。そして百年前に海の向こうの人々が受けたであろう驚きを、巡り巡って今の日本人が味わっていることにも感慨を覚えます。一人のコレクターがもたらした不思議な、しかし何物にも替え難い縁を感じながら、展覧会をご覧いただきたいと思います。

(学芸グループ主任 河内えり子)



【牙彫】安藤緑山《三茄子》



【七宝】清川惣助《藤図花瓶》(部分)

### ミュージアムショップ

展覧会オリジナルグッズを販売!

一筆箋 各432円(税込)

A5クリアファイル 各324円(税込)



二上 真鍮独特の優しい風合いが魅力です

常時商品も充実しています!



栓抜き - 三日月 2,430円(税込)  
箸置き - 結晶 3,790円(税込)  
箸置き - 三日月 4,050円(税込)



本錫を用いた、曲がるカゴ。お好きな形にアレンジできます。

KAGO - ローズ 3,780円(税込)

本錫100%、自在に曲がるやわらかさが特徴の商品です。

能作

箸置き - 結び 5,400円(税込)



LEAF スプーン 3,888円(税込)

秋の新商品

漆琳堂

寛政4年(1793)創業。漆100%、ポップな色合いが楽しい逸品。



湯呑み 3,024円~(税込)  
飯椀 4,104円~(税込)  
汁椀 4,860円~(税込)  
小鉢 3,240円~(税込)  
まめ皿 各2,052円~(税込)  
※箸(3,456円~)もあります。

プレゼントコーナー

※抽選で2名様へ「ア」マークの品を差し上げます。「プレゼントコーナー応募」、ご住所、お名前、電話番号、隆泉の感想と隆泉に掲載したい一言コメントを明記の上、佐野美術館「隆泉」係まで郵便かFaxでお送りください。一言コメントのテーマは「自分が美術品コレクターだったら何を集めるか」です。しめきり: 2014年11月15日(消印有効)  
・当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。  
・いただいた個人情報はプレゼントの発送以外に使用いたしません。

※「超絶技巧! 明治工芸の粋」展会期中(10/4 ~ 12/23)のみの販売です。

【金工】正阿弥勝義《蓮葉に蛙皿》(部分) 掲載作品はすべて清水三年坂美術館蔵